

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積	能發率電	馬力數	等級
七三九	寒狭川	番外	愛知縣南設樂郡風來寺村 愛知縣南設樂郡風來寺村	同郡 風來寺村 愛知縣南設樂郡	湧水 九二 低水 一三六 平水 一九八	七六	七七六	一四九〇	九三三	一〇〇〇 六六〇	七七一 一、一〇一	乙
七四〇	同	同	愛知縣南設樂郡風來寺村 愛知縣南設樂郡風來寺村	同郡 風來寺村 一色 神天	湧水 一六〇 低水 二三一 平水 三三八	九六	一七〇五	二、四六二	一、五七二	一〇〇〇 六六〇	一、七〇五 一、三六四	甲

水力地點ノ説明

順位七三七 大名倉川合流點ニ於テ右岸ニ取入レ凡ソ
隧道三〇〇間及二三〇〇間ノ開渠ニヨリ字田内ニ於テ本
川ニ放流ス

順位七三八 前記地點放水口ヨリ下流約十三町ノ處ニ
取入口ヲ設ケ約五一〇間ノ隧道並一七四〇間ノ開渠ニヨ
リ右岸ニ導水シ作手村ヨリ流入スル支川合流點附近ニ於
テ放水ス

順位七三九 前記地點放水口ヨリ直ニ右岸ニ取水シ隧
道二一〇間開渠一、二八〇間ノ水路ニヨリ日向ニ放水ス
順位七四〇 前記地點放水口ヨリ直ニ右岸ニ取水シ隧
道二一〇間及一、八二〇間ノ開渠ニテ巴川合流點ニ放水ス
前述諸地點間ニハ流水管流盛ナリ又交通ノ便甚シク不

ヨリ西南ニ蜿蜒美濃、信濃ノ國境ニ海拔七、三〇〇尺ニ餘ル
秀峰惠那嶽ヲ聳立シ更ニ美濃國南部ヲ横キリ木ノ實時ヲ
連ネ濃、美、三ノ國境ニ屹立スル三國山ニ終ル、其ノ餘脈ハ南
ニ延ヒテ次第ニ低キ山嶽丘陵ヲナシ國內ニ蜿蜒蟠屈ス、是
等ノ内信濃、三河國境ノ茶白山ヲ起點トシテ西南岩岳段戸
山、出來山ヲ結ヒ南方巴山、本宮山ニ蜿蜒ハ東南ニ豊川
ノ流域ヲ控ヘ遙ニ北方木曾山脈ノ末勢ト共ニ内ニ矢作川
水系ノ流域ヲ抱擁ス而シテ範圍ハ上流地方ヨリ見テ長野
縣下伊那郡ノ西南部、岐阜縣下惠那郡ノ南部、愛知縣東西兩
加茂郡、額田郡、碧海郡ノ大部及幡豆郡南北兩設樂郡ノ一部
即チ三縣九郡ニ亘リ延長約二二里幅員約八里ノ狹長ナル
地形ヲナシ北東ヨリ南西ニ向テ横ハリ知多灣頭ニ盡ク
地質 主トシテ花崗岩、片麻岩及雲母片岩等ノ古期生成
ノモノニ屬シ著シク浸蝕ノ作用ヲ蒙リ分解又ハ崩壊シ往
々赭禿シ山骨露出シテ赤白色ヲ呈セルモノ多シ。而シテ
幾多ノ支脈雜然タル中ヲ溪谷縱横ニ通シ集積シテ上村川
根羽川、武節川、段戸川、巴川、大平川等ノ大小河川トナリ遂ニ
矢作川本流トナル、川ハ西加茂郡舉母町ヲ過キテ漸ク山地
ヲ脱シ第四紀沖積層ニ屬スル岡崎附近ノ平原ヲ潤シ洋々
トシテ知多灣ニ注ク

良ニシテ僅ニ幅六尺ノ坂路一條存シ發電所用機械並工事
諸材料ノ運搬困難ナリ且附近ニ電力消化ノ見込ナク約二
〇哩餘ノ豐橋方面ニ送電スル外ナカルヘシ

第三章 矢作川水系

第一節 概説

一、流域

全面積

内 山地

平地

利用シ得ヘキ面積

地勢

一三二八方里

一〇八八方里

二四〇方里

九七二方里

本州脊梁ノ一部ヲナセル木曾山脈ハ信州駒ヶ嶽

林野狀態 域内ノ山林面積約六四、〇〇〇町步ニシテ國
有林ヲ缺キ私有林ノ面積其ノ過半ヲ占ム然モ往昔濫伐盛
ナリシト山嶽多クハ風化シ易キ花崗岩ヨリ成リ永ク風雨
ノ浸蝕ニ委棄セラレシ爲概シテ林野狀態良好ナラス然レ
トモ流域ノ上流部ニテ北ニハ上村山御料林東ニハ段戸山
御料林アリ其ノ地積モ約一五、〇〇〇町步ヲ占メ林相見ル
ヘキモノアリテ常ニ能ク水源ヲ涵養ス、總シテ流域内森林
ハ針葉及闊葉樹林互ニ相伯仲シ混濬林ニ屬スルモノ少シ、
樹種ハ杉、檜、樅、サワラ、其ノ他雜木ヲ交ユ

二、河川狀況 域内諸川上流部ニ於テ概ネ兩岸削ルカ如
ク山骨ハ花崗岩多ク山形鈍圓形ヲナシ急峻ナルモノ少シ
而シテ沿川平地ニ乏シク交通ノ便又不良ナリ、河床ハ多ク
岩盤露出シテ屢急潭深淵ヲ生シ荒廢又亂流ノ跡ヲ呈セル
モノ尠シ

河川ノ勾配 勾配又急ニシテ就中上流部ニアル武節川、
段戸川、上村川及根羽川等ヲ著シキモノトシ巴川、矢作川本
流ニ至リテ漸ク緩トナル

利用シ得ヘキ範圍 矢作川本流ニアリテハ猿投村大字
越戸ヨリ上流、巴川ハ矢作川本流トノ合流點附近ヨリ上流、
大平川ニテハ秦梨川合流點附近ヨリ上流、其ノ他ノ支川ニ

アリテハ其ノ殆ト全川トナス然レトモ近年各種事業ノ勃興ハ著シク水力ノ利用ヲ促進セル結果本流域ノ諸水力地點モ大半ハ既ニ利用ノ途ヲ拓カレ發電開始ノモノ工事中ノモノ其ノ數枚舉ニ違アラヌ

水期トナセトモ夏季五月又ハ六月ニ相當減水ヲ示スコトアリ流域一万里當湯水量ハ巴川流域ニ於テ約一二個矢作川本流(舉母町ヨリ上流及同支流ニテハ更ニ多少ノ水量ヲ加フヘシ)

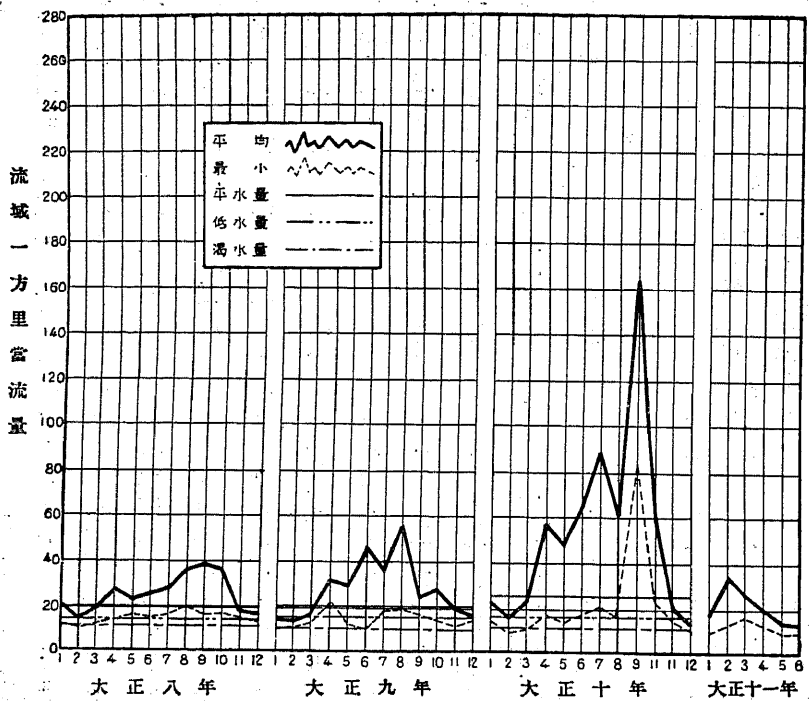
流量ノ變化 概シテ夏季及秋季ヲ増水期トシ冬季ヲ減

矢作川水系流量表

順位	番順位	河川	測水所	面積	流量				流域一万里當流量									
					年次	最大	平水	低水	湯水	最小	最大	平水	低水	湯水	最小			
一	四三	矢作川	愛知縣東加茂郡旭村 牛地松ヶ瀬	二九二六	大正八年 三二〇〇	大正九年 六五〇〇	大正十年 六四〇〇	大正十一年 六三九	大正八年 五二	大正九年 三三	大正十年 三三	大正十一年 三三	大正八年 一七六	大正九年 一五〇	大正十年 一五六	大正十一年 一七		
二	四五	矢作川	愛知縣東加茂郡旭村 小波	四〇六〇	大正八年 七二四〇	大正九年 一五八〇〇	大正十年 一五八〇〇	大正十一年 一五七〇	大正八年 六五	大正九年 六五	大正十年 六五	大正十一年 六五	大正八年 一七六	大正九年 一五〇	大正十年 一五六	大正十一年 一七		
三	四五	巴川	愛知縣東加茂郡盛岡村 則定橋之實	二六三二	大正八年 二二〇〇	大正九年 五八〇〇	大正十年 五六一〇	大正十一年 三六九〇	大正八年 一〇八	大正九年 三三	大正十年 三三	大正十一年 三三	大正八年 一六五	大正九年 一三七	大正十年 一三九	大正十一年 一〇		
四	四五	矢作川	愛知縣西加茂郡藤岡村 下川口	四九四	大正十年 一八六〇〇	大正十一年 一三三〇〇	大正八年 一〇〇〇	大正九年 一〇〇〇	大正十年 六四三	大正十一年 三〇〇	大正八年 二七六	大正九年 二九二	大正十年 二〇四	大正十一年 二〇四	大正八年 二二	大正九年 二二	大正十年 二二	大正十一年 二二

矢作川水系矢作川小波測水所

各月平均及最小流量圖



ノ分布ヲ見ルニ東南豐川流域トノ分水嶺ヲ通シテ一般ニ其ノ量多ク大略二三〇〇耗ヲ超ユルカ如シ
月降水量ハ九月ニ於テ最大ニシテ一月及二月ニ於テ最小ヲ示ス其ノ他氣象ノ變化ハ略前章豐川水系ニ述ヘタルモノト大同小異ト見テ可ナラン

第二節 矢作川、明知川、田代川

一、流域 地勢 水力利用上本川ニ關係アル地積ハ西加茂郡猿投村大字越戸ヨリ上流約五七方里ニシテ愛知縣東西兩加茂郡及北設樂郡ノ一部ヨリ長野岐阜兩縣下ノ一部ニ擴リ内ニ上村川、根羽川、武節川、段戸川、明知川等ヲ分岐シ本水系ノ主要部ヲ占ム而シテ城内ハ木曾山脈ノ末勢タル諸丘陵起伏シ農耕地、裸地ハ僅ニ其ノ約一割強ヲ占ムルノミ
地質 殆ト片麻岩ヨリ迸發シテ之ヲ掩ヘル花崗岩ヨリ成リ一般ニ甚シク風化ヲ受ケテ腐爛ス字廣瀬附近ニ至リテ始テ第三紀層ノ地質ヲ現出シ舉母町附近ニテハ第四紀層ノカ邊縁ヲナス

三、氣象 本流域内、山嶽地方ノ降水量ハ約二、〇〇〇耗ヲ上下シ隣接豐川流域ノ夫レニ比シテ概シテ劣ル而シテ其

林野狀態 上流支川上村川流域ニハ上村山御料林アリテ森林蓄積タルモノアリ其ノ他、地積約之ニ倍スル民有林

ト共ニ約一八、〇〇〇町歩ノ山林ヲ掩有シ杉、檜、松、樅等ヲ多ク産出シ林野状態ハ附近流域ニ比シテ概シテ良好ナリト云フヘシ

二、河川狀況 矢作川ハ三河國三大川ノ隨一ニシテ海拔約七、四〇〇尺ヲ超ヘ濃、信ノ國境ニ聳立スル惠那嶽ニ源ヲ發スル上村川ニ其ノ端ヲ發ス。本川ハ北設樂郡稻橋村ニ於テ左ニ根羽川ヲ合セ幾程モナクシテ武節川ヲ入レ西南西シ美濃、三河ノ國境ヲ縫フテ里餘更ニ段戸川ヲ收メテ西轉シ東加茂郡旭村ニ於テ右ニ明知川、三濃川ヲ合セ間モナク國境ヲ離レテ西南ニ轉シ東西加茂郡界ヲ成シツツ西加茂郡石野村大字西廣瀬附近ニ於テ始テ第三紀層ニ入ル、水流ハ此處ニ至ル迄殆ト群山丘陵ノ間ヲ盤旋シ沿岸僅少ノ平地ヲ貽メノミ西廣瀬ヲ過キ北東ヨリ來ル大支流巴川ニ會シ漸次河幅廣マリ更ニ南下シ岡崎市ノ西方ヲ貫流シテ海ニ入ル

支流明知川ハ其ノ源ヲ峰ノ山ニ發シ西南ニ向ヒ流下シ明知町ノ下流里餘ノ處ニテ大泉方面ヨリ來ル支川ヲ合セ更ニ南流里餘ニシテ矢作川ニ投ス本川ハ前記合流附近迄ハ兩岸絶壁多ク丈餘ノ瀧數箇所ヲ有シ落水ハ白泡ト化シ滔々トシテ流下ス。明知町ニテハ町營ヲ以テ前記ノ瀧ヲ

スル枝下用水ヲ擧クヘク他ハ特記スルモノナシ而シテ該灌溉時期ハ毎年五月ヨリ十月ニ至ル約六箇月間トス。上流各支川ヨリ流レ集マル流水ハ先ツ之ヲ旭村大字小渡ニ於テ筏トナシ大川狩ニテ下流ニ運フ筏ノ大サハ通常長サ二間半幅四尺ノモノニシテ毎年十一月ヨリ翌年三月迄ヲ筏流ノ最盛期トシ其ノ他四季ヲ通シテ流下ス其ノ年數量約一、五〇〇組ニ上リ樹種ハ杉、松、檜、竹材等トス然レトモ下流越戸町附近ニ至ル間ニ幾多ノ急瀨アリテ筏流ニ多大ノ困難ヲ感スルカ如シ流水ニ關シテハ水力利用上相當考慮ヲ拂フ要アルヘシ。漁收ハ本川筋ニ於テ年額約六、〇〇〇貫アリ魚、鱒、鮎、鰻其ノ他雜魚等ニシテ築、投網又ハ釣ニテ之ヲ捕獲ス。舟航排水等ニ就キテハ右範圍ニテハ特ニ考慮ノ要ナカルヘシ

矢作川 水力地點表

順位(一)ナ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	流域	發電率	年平均馬力數	等級
(七四)	矢作川	一	愛知縣東加茂郡旭村 關羅瀨	同郡旭村 瀨村	高水 三九〇 低水 五四八 平水 七三二	九四	四〇六九 五七一八 七六三八	一三九〇	三二二五	一〇〇・〇 九六・三 八九・六	四〇六九 五五〇一 六七六三	甲
(七四)	同	二	愛知縣東加茂郡旭村 小渡	同郡旭村 戸村	高水 五〇二 低水 七〇二 平水 九一八	一二九	七一八八 一〇〇五二 一三一四五	二五三〇	四・三三	一〇〇・〇 九六・四 八九・三	七、八八 九六・九〇 一二七三六	甲

利用シ發電シツツアリ

支流三濃川ハ源ヲ岐阜愛知縣界ノ分水嶺ニ發シ東南ニ向ヒ約一里ノ間ハ兩縣界ヲナシ夫ヨリ縣界ヲ東ヘ離レ三濃村大字中切ニテ矢作川ニ合流ス

利用範圍 越戸附近ヨリ上流約一里ノ間ニシテ總落差約九四〇尺其ノ間概シテ兩岸峻シク絶壁ヲ成シ河川ノ彎曲部ニハ砂礫洲ヲ散見スレトモ河床隨所ニ岩石露出シ急瀨ヲナス

河川勾配モ甚シク緩ナラス平均一五二分ノ一ヲ下ラス

流量ノ變化 流域ノ林野状態割合ニ良好ナルヲ以テ流域一方里當濁水量ハ平均一三個内外ニシテ平水量ハ約二三個内外ヲ算ス

三、治水及水利事業 矢作川本流ハ直轄河川ニ屬シ河川法ヲ準用サル其ノ區域ハ左岸西加茂郡高橋村大字平井字古鼠右岸同鎮投村大字越戸字井畑平戸橋以下海ニ至ル間ニシテ前記利用範圍ニ直接ナル關係ヲ有セス。灌溉關係ニ就キテ之ヲ見ルニ前記利用範圍内ニ於テハ西加茂郡猿投村字枝下ニテ矢作川本流ヨリ取入レ西加茂郡舉母町猿投村及碧海郡高岡村、上郷村ノ一圍約一、五〇〇町歩ニ灌溉

沿川水力地點中ニハ既許可開業セルモノ工事中ノモノアリ其ノ他多クハ民間事業者ノ大ニ著目スル所ニシテ早晚利用シ盡サルヘキモノナラン

四、水力地點 本川ニ於ケル選定水力地點ノ分布範圍ハ東加茂郡旭村大字關羅瀨ヨリ西加茂郡猿投村大字越戸間ニシテ濁水量ニテ一、〇〇〇馬力以上ノ選定地點數三及同上濁水、低水、平水量ノ各發生馬力數ハ各一五、一二九馬力、二一、二五六馬力及二七、九三三馬力等ニ達スルモノ内二箇所ハ許可水力地點ニ關係ス。本水力地點ハ三河鐵道ヲ越戸驛(終點)マテ利用シ同驛ヨリ縣道數里内外ニシテ各地點ニ達シ得ヘシ又電力ハ岡崎、豊橋方面ニ供給シ得ヘキ可能性ヲ有スルヲ以テ相當有利ナル地點ニ屬ス

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	流域	能發電	年平均馬力數	等級
七四三	矢作川	三	愛知縣東加茂郡阿摺村 日原	西加茂郡石野村 枝下	湯水 六一二 低水 八六七 平水 二、三〇	五七	三八七二 五四八六 七一五〇	一七三〇 三八九〇	三、三三 四、九七	一〇〇・〇 六六三 八九二	一、七〇八 五、八三 六、三七一	丙

水力地點ノ説明

順位七四一 隧道六三〇間開渠七六〇間ニシテ尾三電力會社ハ本地點取入口上流約二十町ノ處ニ取入口ヲ設ケ明知川合流點ニ放流スヘキ計畫ノモトニ目下盛ニ工事中ナリ本地點間ニハ流木僅少其ノ他浮游物等ナシト雖洪水時ニハ轉石ノ流下ヲ見ルコトモアリ

順位七四二 隧道九三〇間開渠一、六〇〇間ノ水路ニヨリ左岸ニ導水シ字笹戸ニ於テ本川ニ放流セシムルモノトス尾三電力會社ハ本地點取入口ヨリ下流約十八町ノ字小柳ニ取入口ヲ設ケ本地點ト同所ニ放流セムトスルノ計畫アリ本地點ニハ竹筏、材木等ノ流下比較的盛ナルヲ以テ是等ニ支障ナキ設備ヲ施ササルヘカラス其ノ他河川ニ浮游物多クケレトモ細砂ノ常ニ流下移動ヲ認ムルモノアリ

順位七四三 阿摺川合流點ヨリ下流約六町ノ處ニテ左岸ヨリ取入レ枝下渡船場ヨリ上流ヘ約六町ノ處ニ放水ス

前記地點ト同様竹筏並材木ノ流下比較的盛ナルト舉母方面耕地ニ灌漑スヘキ枝下水路等アルヲ以テ水力工事施工上考慮ヲ要スル點多シ

猶現今本川河水ヲ利用シテ猿投村大字御船附近ノ原野開墾ヲ畫スルモノアリ之カ灌漑用水ハ藤岡村大字下川口ヨリ取入ルモノナリト云フ

第三節 上村川、飯田洞川

一、流域 地勢 上村川ハ矢作川水系ノ最上流部ニ屬シ其ノ流域ハ長野縣伊那郡波合村ノ半部、岐阜縣惠那郡上村ノ全部及下原田村ノ大部ヲ占メ東西約五里南北約三里ニ亘リ其ノ高サハ下流下原田村字小田子附近ノ海拔約一、〇六〇尺ヨリ起リ木曾山脈中ノ秀峰惠那嶽ノ南方大川入山ノ海拔約六、三〇〇尺ニ終ルヲ以テ山勢頓ニ急ナリ

地質 全部花崗岩ニシテ屢、雲母片岩ノ薄層ヲ挿入シ雲

母片岩ト同時代ニ迸發セル形跡アリ

林野狀態 本川上流部ハ上村山御料林ヲ以テ掩ヒ畜木舊蒼トシテ繁茂シ其ノ他民有林ト共ニ林相ヲ飾ル下流ニ及ヒテ稍林相劣ルモ濫伐ノ弊少ク概シテ其ノ狀態不可ナルヲ見ス樹種ハ杉、檜其ノ他雜木等トス

二、河川狀況 本川ハ信濃國波谷村字平谷附近ニテ其ノ水量著シク肥エ西下約一里ニシテ濃信ノ國境ヲ劃シ稍南轉シ之ヲ暫クシテ美濃路ニ入り惠那郡上村附近ニテ北方燒山ニ其ノ源ヲ發シ上村山御料林ニ養ハレタル一支流飯田洞川ヲ合セ水勢頓ニ加ハリ夫レヨリ右曲左折シ字小田子附近ニ於テ左ニ根羽川大支流ノ來ルニ遭ヒ茲ニ矢作川ノ本流ヲナス。本川ノ勾配概シテ急殊ニ波合村字平谷ヨリ下流約二里半ノ間ハ山勢迫リテ然モ急峻沿岸一帶懸崖絶壁壁フルモノナク水際河身又巨巖怪石重疊シ激流岩ヲ

嚙ミ一連ノ瀑流ヲナシ通路僅ニ川ニ沿フテ岩頭ニ通スルノミ

利用範圍 本川中流及下流ニシテ其ノ總落差約一、六〇〇尺トス

流量ノ變化 林野狀態良好ナルヲ以テ一方里當ノ湯水量約一二個以上ニシテ本水系ヲ通シテ優良ナル部ニ屬ス

三、治水及水利事業 本川水力地點ノ水利使用ハ矢作水力電氣株式會社ノ許可ニ屬シ既ニ上村發電所ノ發電開始ヲ見其ノ他工事中又ハ未工事ニ屬スルモノアリテ地點ノ餘スモノ殆トナシ。魚收ハ多少之レ無キニ非サレトモ灌漑舟筏、流木等ニ就キテハ特記スヘキモノナシ

四、水力地點 本川ニ於ケル選定水力地點數一、其ノ發生馬力數ハ湯水ニテ一、三〇八低水ニテ一、八二四平水ニテ二、

上村川 水力地點 表 落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	流域	能發電	年平均馬力數	等級
七四四	上村川	一	長野縣上伊那郡波合村	岐阜縣惠那郡上村 海	湯水 三七 低水 五三 平水 七三	* 三、一〇	一、三〇八 一、八二四 二、五二二	一、七三〇	三、三三	一〇〇・〇 九、三八 八、七三	一、七〇八 一、七〇七 二、一九三	甲

五二馬力ニ達シ未許可ナリ

許可水力地點數二總馬力二〇、九七〇ナルヲ以テ許可馬力ハ本川總馬力ノ約九割ニ相當ス。前記選定地點ハ矢作水力會社經營ノ電車ヲ岩村町迄利用シ同驛ヨリ縣道數里ニテ達シ得ヘシ又電力ハ名古屋方面ニ供給スルヲ便トセ

水力地點ノ説明

順位七四四 長野縣波合村大字平谷ヨリ十五町下流ノ屈曲部ニ於テ左岸ニ引水シ長一、七三〇間ノ開渠ヲ以テ同村字五軒小屋對岸ニ導水シ本川ニ放水スルモノトス。本地點附近ニハ矢作水力會社ニテ經營中ニ係ル岩村電車並索道アルヲ以テ之ヲ利用シ上村ニ達スルコトヲ得レトモ之ヨリ道路ハ北スルニ隨ヒ急勾配トナルヲ以テ豫メ道路ノ改修工事ヲ施スノ必要ヲ認ム。本地點間ニハ流木ナ

第四節 根羽川

一、流域 地勢 流域ハ前述上村川流域ニ南隣シ長野縣下伊那郡根羽村ノ大部、岐阜縣惠那郡下原田村ノ一部並愛知縣北設樂郡稻橋村ノ大部、浦具村ノ一部ニ跨リ東西約六

里南北約四里ニ亘ル。地勢ハ海拔五、〇〇〇尺ノ茶白山ヨリ西ニ向テ急傾斜シ下原田小田子ニ終リ水源部ニテ急ナリ

地質 極メテ小部ノ片麻岩層ト之ヲ掩フ花崗岩ノ大部ヨリ成ル

林野狀態 域内ノ約九割ハ山地ニシテ森林ノ大部ハ民有林ニ屬スレトモ概シテ林野狀態良好ナリ主トシテ杉檜ノ繁茂セルヲ見ル

二、河川狀況 本川ハ其ノ源ヲ信濃三ノ國境ナル茶白山ニ發シ途ニ幾多ノ小支流ヲ合セ西ニ向ケ隣川上村川ト稍並進シ蜿蜒約五里字小田子附近ニテ矢作川本流ニ投ス。其ノ利用範圍ハ下伊那郡根羽村ヨリ上流約一里半及最下流部約一里半ニシテ就中前者ニ於テハ沿岸地勢峻シク水流此等岩裾參差ノ間ヲ奔放シ漂流スルトコロ尠カラス。但シ概シテ交通不便ナルト流域狹小ニシテ水量爲ニ僅少ナルヲ惜ム而シテ一方里當ノ流量ハ隣川上村川流域ニ一歩ヲ輸スルカ如シ

三、治水及水利事業 本川下流ハ矢作水力電氣株式會社ノ利用許可ヲ得タル處ニシテ餘ストコロハ上流唯二箇所ノミ、其ノ他灌溉用水、漁業關係等特筆スヘキモノヲ見出サ

ス。流木多少アリ

四、水力地點 本川ニ於ケル選定水力地點數二發生馬力數ハ湧水ニテ二、一五五馬力低水ニテ三、〇四七平水ニテ四、

根羽川水力地點表

落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
七四五	根羽川	番外	長野縣下伊那郡根羽村小戸名	同 郡 根羽村 向黑地	湧水 二四 低水 三四 平水 四六	* 三〇二	八〇五 一、一四〇 一、五四二	二、五九〇	一、九七	一〇〇〇 九五八 八七三	八〇五 一、〇九二 一、三四六	丙
七四六	同	同	長野縣下伊那郡根羽村月ヶ瀬	愛知縣北設樂郡稻橋村大ノ瀬	湧水 六三 低水 八九 平水 一一	一九三	一、九〇七 二、五九二	一、二一〇	五二〇	一〇〇〇 九五八 八七三	一、八二七 二、二二三	甲

水力地點ノ説明

順位七四五 隧道三九〇間開渠二、二〇〇間ノ水路ニヨリ左岸ニ導水シ字向黑地本流ニ放水スルモノトス。流木浮游物並土砂ノ流下少シ

順位七四六 隧道四二〇間開渠七九〇間ノ水路ニ依リ左岸ニ導水シ大野瀬川合流點ヨリ上流約十町ノ處ニ放水スルモノトス。流木浮游物並土砂ノ流下少シ

第五節 武節川、名倉川

一、流域 地勢 本流域ハ愛知縣北設樂郡武節村ノ大部分稻橋村及段嶺村ノ小部分ヲ含ミテ東西約三里南北約四里ノ地ニ亘リ地勢南ヨリ北ニ向ツテ低下シ北邊ハ矢作川本流ニ依リテ境ヲ限ル

地質 花崗岩ニ片麻岩層ヲ交エ多クハ崩壞シ中ニハ赤膚ヲ露出セルモノ尠カラス

林野状態 流域上流部ニハ段戸御料林アリ古木鬱蒼タル密林ニシテ附近一帯ニ林相優レ下流ニ下ルニ從ヒテ民有林ヲ増シ自然林ノ潤葉樹及人工植栽ノ杉檜等ノ森林ヲ見ルモ農耕宅地又ハ裸地全流域ノ約四割ヲ占メ林野状態概シテ可ナルヲ見ス

二、河川狀況 三河國北設樂郡ニアル高峰岩嶽ノ麓ヲ發スル名倉川及黒田川ノ二水ハ共ニ北シテ武節村地内ニ於テ相合シ武節川トナル。水流ハ上記合流點ヨリ下流約半里ノ間ニ於テ一大旋廻ヲナシ北西ニ轉シテ約一里稻橋村ニテ上村川根羽川ノ二大支川ト共ニ矢作川ニ入ル。沿岸概シテ山勢迫リ河幅狭ク水流急ナリ特ニ其ノ勾配急ニシテ落差大ナルハ之ヲ賞スヘシ

名倉川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
七四七	名倉川	番外	愛知縣北設樂郡稻橋村中當	同 郡武節村	湧水 三三 低水 四七 平水 六四	一一二	四四七 六三六 八六七	一〇〇〇	二七五	一〇〇〇 九五八 八七三	四一 六〇九 七五七	甲 乙

水力地點ノ説明

順位七四七 本地點ハ一、〇八〇間ノ開渠ニヨリ左岸ニ

導水シ武節川合流點ヨリ上流へ約六町ノ處ニ放水スルモノトス。浮游物並土砂ノ流失ヲ認メス其ノ他前記ノ如シ

發生電力ハ附近ニテ消化ノ見込ナク名古屋方面ニ送電供給ノ外ナカラン

第六節 段戸川

一、流域 地勢 東加茂郡旭村及賀茂村ノ一部並北設樂郡武節村、段嶺村ノ一部ヲ占メ東西ニ狭ク南北ニ長ク地勢ハ北方小瀧野ヨリ南方段戸山、出來山等ニ向テ高度ヲ加フニト急ナリ

地質 全域殆ト山地ニシテ總テ花崗岩層ヨリ成リ風化ノ跡少シ

林野状態 山地ハ多ク樹木ニ富ミ水源部ニハ段戸山御料林アリ杉、檜等針葉樹ノ密林ヲナシ林野状態良好ナリ

二、河川狀況 本川ハ源ヲ段戸山ニ發シテ北流シ山嶽錯

段戸川水力地點表

順位ニ(一)ヲ附セルハ許可地點ニ關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	水路長	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
(七四八)	段戸川	-	愛知縣東加茂郡旭村、田津原	同 郡旭村、和戶	湧水 二九 低水 四一 平水 五七	四八五	一、五六一 一一〇七 三、〇六九	一、五〇〇	二二六	一〇〇〇 九五八 八七三	一、六一 二、一四 二、六七九	甲

綜ノ間ヲ蛇行シ幾曲折ノ後東加茂郡旭村ニ於テ矢作川本流ニ會ス、全川ヲ通シテ勾配急殊ニ本川最下流部ヨリ武節村村界ニ至ル間兩岸峭立シ勾配甚タ急ニシテ流水恰モ瀧ノ如シ

流量ノ變化 林野状態ハ本水系中最優レ流量從ツテ豊富ニシテ流域一方里當湧水量約一三個ヲ超ユルカ如シ

三、治水及水利事業 本川利用ノ地點ハ尾三電力株式會社ニ於テ既ニ水力使用ノ許可ヲ得タルモノヲ除ケハ他ニ有利ナルモノヲ見出サス。流水多少アレトモ餘リ盛ナラス

四、水力地點 流域内ノ選定地點一箇所ナレトモ尾三電力株式會社ニ許可トナル。發生電力ハ名古屋方面ニ供給スルヲ便トセン

水力地點ノ説明

順位七四八 宇田津原ニ於テ右岸ニ取入レ本川合流點稍上流ノ矢作川本流一放水スルモノトス。既ニ尾三電力會社ニ許可濟ニシテ目下盛ニ工事中ナリ。本地點間ハ落差頗ル多キヲ以テ出水ノ際ニハ轉石流下ヲ見ルコトアリ其ノ他灌溉、流木等ニツキ特ニ記スヘキモノナシ

第七節 巴川(足助川)神越川

郡界川

一、流域 地勢 本川ハ矢作川水系支流中最大ナルモノニシテ其ノ流域ハ本水系ノ中部ヲ占メ形狀三角形ヲナシ東ハ豐川水系ニ境ヲ接シ其ノ範圍ハ愛知縣東加茂郡ノ大部及南設樂郡ノ一部ニ跨リ地勢概シテ東ニ高ク南西ニ向テ低ク傾斜ス

地質 殆ト花崗岩ニシテ所々片麻岩層ヲ見ル

林野狀態 流域東部水源地方ニハ地積約三〇〇町歩ノ御料林アリ其ノ他約七、五〇〇町歩ノ民有林域内ニ分布シ

檜、樅、榎、椎、杉、松等ヲ產出ス

二、河川狀況 本川ハ源ヲ南設樂郡萱沼村大字萱沼ニ發

シ北西ニ向テ流レ東加茂郡賀茂村大字安寶京ニテ支流神

越川ヲ入レ同郡足助町大字足助ニテ賀茂川ヲ合セ急轉シテ南西ヲ指シ蜿蜒約五里途ニ東賀茂郡及額田郡ノ郡界ヲナセル郡界川ヲ左ニ容レ間モナク下渡合ニ於テ矢作川本流ニ投ス沿岸多クハ花崗岩ヨリ成リ岩盤露出ノ箇所及玉石又ハ砂礫ノ堆積セルモノ相交ユ

河川勾配 上流ハ特ニ急ニシテ落差ニ富メトモ足助町以下ニ於テハ稍緩トナリ平均約一二〇分ノ一ニ下ル

利用シ得ヘキ範圍 足助町ヲ挾ミテ上流約四里及下流約五里矢作川本流トノ合流點迄トス

流量ノ變化 本川流量ニ比シテ稍劣リ一方里當湯水量ハ平均約一〇個内外ナルヘシ

三、治水及水利事業 本川ノ水力地點ハ何レモ岡崎市ヲ近ク擁シ電力ノ需要大ナル爲殆ト利用シ盡サル。沿川灌溉關係トシテハ足助町大字岩神一圓約六〇町歩ヲ灌溉スル岩神用水ノ外特筆スヘキモノナシ。流木アレトモ盛ナラス又漁收ハ割合ニ盛ニシテ年産額約二、五〇〇貫テ燈ニ魚簇ハ主トシテ鮎、鰻其ノ他雜魚等トス

四、水力地點 域内ハ殆ト利用シ盡シ更ニ餘地ヲ認メザル狀態ナリトス